

珍しい植物の開花が見られます！ 『プヤ・アルペストリス (ヒスイラン)』の観察会

今回の観察会では、プヤ・アルペストリス（和名：ヒスイラン）というパイナップル科の植物の開花を鑑賞します。プヤ・アルペストリスは、南米アンデス山脈の3000m級の高地に育ち、巨大なアスパラガスのような花序が高く伸び、とげがついたような枝が分枝して、この枝に花が集まって咲きます。花弁がヒスイ（宝石）のような色をしていることにちなんで、岡田博氏（大阪市立大学名誉教授・当植物園元園長）によって2003年に『ヒスイラン（和名）』と名付けられました。この観察会では、その名付け親である岡田博氏による詳しい説明があります。実は数年に1度しか開花しない珍しい植物です。この機会に是非ご来園いただき、ご覧いただければと思います。



日 時：第1回 2019年6月8日（土）10時30分より（少雨決行）
第2回 2019年6月15日（土）10時30分より（少雨決行）

場 所：植物園入口事務所前 集合

講 師：岡田 博 氏（大阪市立大学名誉教授・当植物園元園長）

参加費：無料（入園料350円は必要、中学生以下は無料）

申 込：事前申し込みは不要。※当日、定刻までにお集まりください

お問い合わせ：大阪市立大学理学部附属植物園 072-891-2059